

J・T・S ～ジュニアティーチャーシップ～ の2

5年2組は、図工の授業でした。自分の好きなアニメのキャラクターを変形させたり合体させたりして個性豊かな作品をつくっていました。例えば

キティえもん：キティちゃんのようなドラえもんのような・・・

スライムドラクエキティ：3つのキャラクターを合体。

ヤンキーキティ：これはちょっと怖かったです。

縦じまキティ：阪神タイガースのかねもティ（金本）でよかったかも。

JTSは先生になろうかなと思っている高校生が模擬的に授業をするといった活動を行っています。その高校生先生は、「はい、話を聞いて下さい。」とか「ちょっと黙ってください。」とか一生懸命に子どもたちに指示をしますが、制作に夢中な子どもたちはほとんど聞いていないといった状態でした。これが担任の先生ならビシッといくのですが、楽しく子どもたちと活動する喜びとともに指導の難しさも実感したと思います。先生になったとき、この経験が生きてくれるといいなあと思いました。

聞く・訊く・聴く

先日、保護司会の方から広報誌「尼保だより」をいただきました。そのなかに武庫地区の地区集会での記事がありました。全日本カウンセリング協会のカウンセラーの方の講演についての記事でしたが、話を『聴く』ことの大切さについて書かれてあり、教育や子育てにも大切なことだなと思いました。私なりの理解をもとに考えを少し補足しながら概要を紹介します。

「キク」には「聞く」や「訊く」、「聴く」などいろいろあります。なかでも「聴く」は相手の言葉を受け入れ、相手に寄り添う気持ちになるということです。そのためには、①あいづちを打つ（あなたの言うことをちゃんと聴いていますよというメッセージ）②内容を繰り返す（あなたの言うことを肯定していますよ、認めていますよというメッセージ）などのメッセージを発信しながら『聴く』。結論や指導を急がず、相手の意を汲みながらも、受け入れ可能な助言をし、信頼と安心感を得ることができるように『聴く』ことが大切です。

昨日の息子との会話を振り返って、自分の考えを一方向的に押しつけていたのではないかと反省しながらパソコンのキーをたたいています。お父さんやお母さんはどうですか。子どもとの接し方を考えるきっかけになれば幸いです。

いつも清潔にご使用いただき、ありがとうございます。

みなさまが気持ちよくご使用していただくため、これからも清潔にお願いします。 美化委員会 ○○
廊下の一角にこんなポスターがありました。よく見ていくと「ここは○年○組が掃除をしています。いつもていねいに使ってくれてありがとう。」や「保健委員会トイレトペーパー点検係 ○年○組 ○○ ○○」といったポスターも見つけました。自分の仕事に責任をもつこと、ポスターを見た子どもたちが校内美化に関心をもって取り組むことなどを目指して貼ってあります。子どもたち一人ひとりが自分の学校の美化に責任をもって取り組む。実現させたいですね。